

## 大同大学大同高等学校

## 曲がれ！スプーン

作:上田 誠

## ◇概要◇

町外れにある寂れた喫茶店「カフェ・ド・念力」。どこにでもある普通の喫茶店…と思いきや、そこは多種多様な‘エスパー’達が集まる少し変わったカフェだった。今夜はここで、エスパー達によるXmasパーティーが行われるらしいが、思わぬ客がやって来て、気がつけばてんやわんやのXmas。エスパー達はどうになってしまうのか…。



## ◇メッセージカードより◇

- ・エスパーが楽しかったです。まるでこの世にエスパーがいるのではないかと、人生おもしろくなりました。私もエスパーかも、フッフッフ♥
- ・とにかく笑顔になれました！作り込まれた舞台装置、練習を積み重ねた成果が120%にでた会話の演技、すべてがすべてすごい！尊敬です！お疲れ様でした。
- ・お疲れ様でした！地区から観させていただいて3回目だったのですがいつ見ても笑えて本当にすごいと思います。衣装も冬仕様になったりポケットとツッコミの差がよりハッキリしたり、また観ることができて本当に嬉しかったです。笑いをありがとうございます！マスター本当に大好きです。
- ・60分経つのが早い！もっと観ていたかったです。会話のみで進む作品はテンポが大事だと思っていて、この作品は見ていて飽きなかったです。

## ◇楽屋インタビュー◇

## Q1. 今回の脚本は潤色したものなのですが、この脚本を選んだ理由は？

A. 自分のわがままが始まりなのですが、1年生のときにこの脚本を読み元々コメディが好きでその劇団さんが好きだった事もあり、どうしてもしたいと思ったから選びました。自分で1時間40分の脚本を1時間に直し、やろうと言ってもらえたので今日こうして舞台にすることが出来ました。しかし、削ったシーンも大変捨てがたかったです。

## Q2. 役者さんがとてもその役に合っていると感じたのですが、どのように選んだのですか？

A. キャスティングは自分と顧問で行いました。この人はこいつかなといった感じです。ですが、自分たちはまだ高校生で、今回の20代から40代といった年上の役に少しでも沿って見えるように一歳でも若く見せないようにこだわりました。

## Q3. 大道具や仕掛けがとても丁寧だと感じました。やはり苦労されましたか？

A. そうですね。いろいろ顧問とも相談して決めました。大道具を制作してくれた部員も大変そうでした。(演出・潤色・マスター役 磯部さん)



【速報担当】渡辺 帆南 (武生)

※ 大同大学大同高等学校のみなさん お疲れ様でした！！